



大口径硬質ポリ塩化ビニル管製造機

一般型

沖水化成株式会社

大口径硬質ポリ塩化ビニル管の生産

大口径（φ250～φ300mm）の硬質ポリ塩化ビニル管の生産を目指し機械装置を導入。

押出条件を確立するための押出試験を行い、樹脂温度および押出速度等の設定条件を確立した後、JIS認証取得に向けて取り組んだ。

〈 事業のきっかけ 〉 OPPORTUNITY

当社は昭和40年に浦添市伊祖に硬質塩化ビニル管の製造販売を目的に設立され、以来、52年間にわたり塩ビ管およびポリエチレン管の製造を行っている。平成5年に中城湾港工業地域に工場を移転し、塩ビ管JIS表示認定工場および日本水道および日本下水道協会の資器材製造認定工場として、塩ビ管および二次加工製品の生産を行っている。塩ビ管は住宅をはじめ土木、農漁業用の給排水管として広く活用されており、当社では用途に応じて10種以上の塩ビ管の製造を行っているが、大口径（φ250～φ300mm）の製造設備がなく、大型工事への参入を見送らざるを得ない状況にあった。経営力を向上させ、従業員の待遇改善や雇用の拡大を図るためにも大口径塩ビ管の製造が大きな課題となっており、ものづくり補助事業の活用で大口径塩ビ管製造設備の導入を図ることになった。

〈 事業の取り組み 〉 PROGRESS

当社は、硬質ポリ塩化ビニル管（一般管、下水道用、農業用）、水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管、水道用ポリエチレン管、農業用ポリエチレン管等の製造を行っているが、これまで最大φ200mmの口径管しか製造できなかった。ものづくり補助事業により大口径塩ビ管製造ライン（押出機以降の金型・冷却水槽・引取機・切断機・排出機・受口加工機）の導入を図り、JIS規格認証までの間、大手業者や各種団体に大口径塩ビ管の採用や県産品使用の要請等を積極的に展開した。JIS規格（JIS K6741）取得後も性能試験等を繰り返し品質向上に努め、一般給排水管、下水道管、農業用ではゴム輪受口管等の製造に取り組んでいる。

COMPANY MIND

熱血起業人

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

塩ビの特徴を活かした利用の拡大と製品開発

大口径塩ビ管の製造が可能になり、建築・土木はもちろんのこと今後は農業の灌漑用の給排水管の設置をはじめ老朽化した下水管の取替え等に積極的に取り組んでいきたい。また、リサイクル品の活用、用途の拡大に努めていくとともに、現在、塩ビ管を活用した水耕栽培用の器材も開発中である。塩ビは耐久性があり軽くて可塑性があることから施工性にも優れた素材である。用途や場所に応じた加工が可能で、今後も塩ビの特徴を活かした製品開発に力を注いでいきたい。

沖水化成株式会社
常務取締役 中真 忠



塩ビ管、ポリ管の口径サンプル



口径違いの塩ビ管



塩ビ管を活用した水耕栽培器

〈 事業の成果 〉 ACHIEVEMENT

大口径塩ビ管は、畑地灌漑事業の本管工事や大型複合施設の公共インフラ設備等に大量に使用されているが、これまでは県内で生産されていないため本土大手メーカー品が採用されてきた。本土大手メーカー品は輸送コストがかかっていたが、県内生産により本土メーカー品と比べて低価格で提供できるようになった。また、公共工事での「県産品優先使用」などの施策により大型公共工事への参入が可能になった。また、大口径の塩ビ管の生産により、これまで受注できなかった物件の注文も増え、他の製品（塩ビ管および給排水管関連商品）との一括購入という受注も増え相乗効果をもたらしている。大口径塩ビ管の生産量の拡大にともない新製品開発にも力が入られるようになり、方形のパイプやカラーパイプの製造の他、塩ビ管を活用した新たな商品の開発にも取り組んでいる。

COMPANY OVERVIEW

代表者名	代表取締役 岸本 力
設立年	昭和40年
所在地	本社・工場 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3-14
TEL	本社・工場 098-982-1371
FAX	本社・工場 098-921-2336
ホームページ	
資本金	2,409.5万円
従業員数	30人
業種	硬質ポリ塩化ビニル管製造業

